

コンビニエンスストアから経済を見てみよう！！

1 ねらい

- ・ 経済分野の導入において、身近な事例（コンビニ）を扱い、生徒自らが調べてみたい課題や疑問を持つことで、これからの学習全体への関心を高める。
- ・ 課題がどのように変化・修正・拡大・焦点化・行動化していったかをまとめる。

2 学習計画（10時間扱い）

	学習活動と内容	手立て・資料
1 (2)	コンビニが増えてきている理由を考えよう。 ・ 消費者側のニーズ ・ 経営者側の努力	・ ワークシート ・ ビデオ
	課題の設定	・ 新聞データベース ・ ワークシート
2 (2)	買い手としての私達 ・ 消費と貯蓄 ・ 消費者の権利 コンビニと消費者	・ ワークシート
3 (3)	売り手になる私達 ・ 流通のしくみ コンビニの挑戦 ・ 生産のしくみ ・ 金融のはたらき	・ ワークシート
4 (3)	市場経済へ入っていく私達 ・ 市場経済のしくみ ・ 市場と価格 コンビニ商品の価格 ・ 働く人たちの生活向上	・ ワークシート

【使用した記事の例】

- ・ 子育て応援`実験`コンビニ
- ・ 98円野菜や肉、販売本格化
- ・ コンビニ弁当、脂質・塩分やや多め
- ・ 酒販戦国時代来る！！

3 新聞データベース活用の効果

公民的分野の経済学習の取り扱いについては、「網羅的で高度な取り扱いにならないように特に配慮する」となっている。身近なコンビニが経済的な記事としてどのように扱われているかを知り、生徒たちは、経済的分野への関心を高めることができた。

そして、最新の情報が次々に掲載される新聞データベースと共に、一旦抱いた疑問や課題を、変化・修正・拡大していきながら学習を進めていくことができる。まさに生きた教材である。

